

## 中目黒駅周辺地区 バリアフリー上の現状と問題点 1/2



- 1) 中目黒駅高架下横断歩道  
 ・朝夕の通勤通学時間帯は、山手通りを横断する歩行者が非常に多い。



- 2) 中目黒駅高架下祐天寺側歩道  
 ・朝夕の通勤通学時間帯は、駅改札から降りた人の横断信号待ちで、混雑している。



- 3) 中目黒駅高架下代官山側歩道  
 ・朝夕の通勤通学時間帯は、横断信号待ちで、混雑している。  
 ・車道へのあふれ出し、斜め横断などが発生。



- 4) 青時間延長ボタン  
 ・高齢者、車いす利用者用に、信号青時間を延長するボタンが設置されて居る。  
 ・視認しにくく、押しにくい場所にある。



- 5) 中目黒駅高架下  
 ・放置自転車対策としてネットフェンスが設置されている。  
 ・雑然としており、歩道空間が活かされていない。



- 6) 上三歩道橋  
 ・設置当時は、児童の安全確保のために設置されたが、現在は、ほとんど利用されていない。



- 7) 山手通りの拡幅事業  
 ・都市計画事業として幅員 30 m に拡幅が行われる。  
 ・拡幅により放置自転車がますます増えることが懸念される。  
 ・歩道を走る自転車もあり自転車道の設置も検討課題である。



- 8) G T 再開発ビルと駅の段差  
 ・蛇崩川緑道をわたる部分に、車いす用スロープが設置されている。  
 ・一般の歩行者がすループを使いにくい構造になっている、スペースが無駄になっている。



- 9) 地下駐輪場  
 ・G T ビル地下に駐輪場が整備されているが、活用されていない  
 ・放置自転車対策と駐輪場の有効活用が必要。



- 10) 駅でのタクシー乗降  
 ・タクシーの乗降や駐停車、荷さばき車両が輻輳している。



- 11) 中目黒立体交差点  
 ・道路付属物や植樹マスによって有効幅が阻害されている区間がある。



- 12) 中目黒立体交差点  
 ・道路付属物や植樹マスによって有効幅が阻害されている区間がある。  
 ・交通島内にバイクが止められている。

## 中目黒駅周辺地区 バリアフリー上の現状と問題点 2/2



13) 中目黒立体交差横断歩道部  
・交通島部分は段差が無くなるようすりつけられているが、勾配がきつい。



14) 中目黒立体交差横断歩道部  
・交通島部分は段差が無くなるようすりつけられているが、勾配がきつい。



15) 山手通り共済病院に向かう歩道  
・歩道の横断勾配がきつい。



16) 山手通り共済病院に向かう歩道  
・歩道の縦断勾配がきつい。  
・歩道と車道の高さを同じにできないか。歩道の波打ち、傾斜の改善が必要。



17) 山手通りやわた歩道橋  
・階段により歩道の有効幅員が阻害されている。



18) 山手通りやわた歩道橋  
・階段により歩道の有効幅員が阻害されている。



19) 中目黒駅 / 東横線北側道 (区道 C 46)  
・店前の自転車、路上看板等が有効幅員を狭め、歩行者と車両が輻輳している。



20) 大型店舗の付近 (区道 C 47)  
・幅員が狭い相互通行路。店前の自転車、信号待ち車両によって歩行者は安心して歩行できない。



21) 山手通り  
・植栽帯はゴミ置き、駐輪場と化している。



22) 山手通り  
・路上にはみ出した商品、放置自転車によって有効幅員が狭められている。



23) 目黒川緑道 (区道 B 31)  
・整備された眺望点も駐輪場として常態化している。  
・交通規制が守られていない。



24) 西郷山通り (菅刈公園前交差点)  
・公園入口前の交差点部では、車両はあまり速度を落とさず交差点を通過するため歩行者が危険を感じる。